

# (株)グラスティ

東京都渋谷区宇田川町2-1 渋谷ホームズ509  
TEL.03-5459-3918 FAX.03-5459-3919  
http://www.grasty.jp/

対談

代表取締役

平林 秀樹 × インタビュアー

角 盈男

[野球評論家]



INTERVIEW  
HIDEKI HIRABAYASHI × MITSUO SUMI

## 人が持つ力を発揮し、成長できる組織をつくる。チームIQが組織を変える！



**角** (株)グラスティさんは設立されて何年に。

**平林** 平成十八年設立ですので、まだ三年余りです。私自身、慶應義塾大学卒業後にリクルートで仕事をした縁から、大学とリクルート時代の仲間が発足しました。社名のグラスティはリクルート時代から仕事の仕方として大切にしている「感謝(Gratitude)」と「誠実(honesty)」から命名しました。

**角** リクルート時代の仕事もやはりコンサルティングの関係ですか。

**平林** 入社後、映像部門に配属されて商品開発や映像を活用しての「学習する組織づくり」の支援をしていました。特に名古屋の事業が多く、お客様の中心はメーカー企業、特にトヨタ自動車やその関連企業が多かったです。そこでの仕事で一人一人が力を付けてると共に、チームの中で個の力を発揮していくことの重要性を学びました。

**平林** 入社後、映像部門に配属されて商品開発や映像を活用しての「学習する組織づくり」の支援をしていました。特に名古屋の事業が多く、お客様の中心はメーカー企業、特にトヨタ自動車やその関連企業が多かったです。そこでの仕事で一人一人が力を付けてると共に、チームの中で個の力を発揮していくことの重要性を学びました。

**角** 例えば野球は個の力とチーム力の二面性を持っています。企業も同じと考えてよいのでしょうか。

**平林** そうですね。個の力が発揮されることにより、チーム力も強まっていくと思います。チームの組織力——すなわち「チーム

IQ」を高めることが大切で、いくら個の力が強くなってもチームに集約されない、あるいはチームの中で発揮されない限りは、その個が所属するチームとしての成果はなかなか上がらないものです。

**角** 例えばWBCなどは良い例ですね。一人一人の力が優れているのは周知の事実として、近年いくらか個の力が強くても世界では簡単に活躍できないのが現状で、「日本」という一つの大きなチームとしていかに力を付けていくかが課題になっています。野球だけでなく他のスポーツも同様で、技術は世界トップレベルなのに、それを最後まで発揮する体力を持ち合わせていないように思います。しかしチームになれば勝てることを立証したのが原監督率いる侍ジャパンの世界一ではないでしょうか。監督曰く「チーム力はすなわち個々の繋がりだった」と言っており、時には選手達を誘ってアフターファイブを過ごしたり、ゴルフにも一緒に出掛けたそうですよ。

**平林** 普段は敵同士、しかもチームそれぞれトップ選手が集まるわけですから、それを一つにまとめたのは原監督の素晴らしいマネジメントがあったからであり、そして個性の強い人材が一つにまとまったのは、「もう一度、日本を世界一にする」という非常に強い「目的の共有」だったと思います。その上でお互いの力を信頼し、自分の役割を認識して、非常に優れた個の力を「日本」という一つのチームのために発揮できた結果だったのではないのでしょうか。

**角** 技術は当然のこととして、一人の人間としても見ることがその選手に対する期待

であり、また、選手も見てほしいわけですから、そのため期待に応えようと更に頑張ります。そういう意味では会社も個が集まった一つのチームとして考えられますね。

**平林** おっしゃる通りです。ただし会社の中の人材がすべて最初から技術やノウハウを持っているわけではないんです。だから人材の力を伸ばしていくことと成果に繋げることを同時に進めなきゃいけない。若手を活かしながら優勝争いをするのが求められるからこそ、一人一人の力を見てどんな役割を果たしてもらおうかをリーダーは考えないといけません。メンバーは協力し合って仕事に取り組み中で、役割を果たすために自分の力を存分に発揮していくかを真剣に考える——それが所属するチームの事業の成長に繋がるということは間違いないと思います。

**角** 社員相互の信頼関係も大切ですね。

**平林** はい。経営者はもちろん、マネジャーも「メンバー一人一人がチームになくてもならない人材」と思い信頼することで、初めて相互信頼が生まれてくるのだと思います。つまりお互い必要だと思いつけられることが会社全体を強くするために不可欠な要素だと考えます。「チームIQ」の高い組織の根底にはこうした考えがあるんですね。当社では「個と組織の状態をサーベイする」というサービスがあり、それにより「チームIQ」の状態を見ていきます。

**角** 最近では個性を大切にしている風潮があり、個々人の能力を伸ばすことばかり目がいっているように思います。チームの力が見えるというのは面白いですね。

**平林** そうですね。当社のコンサルティングはチームという中で自分の力が発揮できているか、パフォーマンスできているかなどを「感情能力」という領域をもとに診て、分析していくことで「チームIQ」の状態を「見える化」するんです。その上で「チームIQ」を高めるために「会社の仕事の型」を明らかにしたり、「コミュニケーションのあり方」や「評価のあり方、制度」といったものを見ていきます。また、一人一人の力を「仕事を通して伸ばしていく」という部分もすごく大切です。誰もが自分の得意とするものを持っていて、力を持っていると思うんですよね。だから経営者は個を信頼し、個に期待し、一人一人が力を発揮できる環境を創っていく姿勢が重要なのではないでしょうか。そして会社として目指すべき方向を語り続けることですね。

**角** 野球は優勝という目標がはっきりしています。企業がとなると人の数も膨大で、一つの方向性を持たせるのは大変でしょう。

**平林** 価値観が多様化して仕事の仕方などもどんどん変わっていく昨今、個の力を活かす、チーム力として発揮してもらうためにも、自社の持つ「仕事の型」を定着させたり「問題解決力」を高めたりすることは必要ですが、リーダーのあり方も本当に重要になってきます。こうしたお手伝いをしながら「人が成長し、成果を上げる企業」を創ることが私どもの仕事だと考えています。

**角** 個人、企業、そして日本が一つのチームになる——考えだけでワクワクしますね。「感謝」と「誠実」の信念を胸に、これからも大いに活躍下さい。応援しています。